町報 おいねしめ

発行所
鹿児島県大根占町役場
電話大根占1番69番
発行人
遊喜半次郎
印刷所
大根占町神之浜
有限会社 三開商事印刷所
電話70番

今月の行事

2日　町議会全員協議会
3日　県消防操法競技大会
8日　町婦人会総会
13日　町体協庭球卓球大会
14日　池田地区みかん新植者総会
15日　としよりの日
18、19日　郡畜産共進会
22、23日　町婦人会の先進地視察
24日　秋分の日
27日　大根占中運動会
28日　葉たばこ前期収納開始――十月十九日まで（後期は11月6日から18日まで）
下旬　町議会定例会招集

福祉年金の受付事務はじまる

支給は11月から

十一月一日から支給される国民年金（掛金のいらない福祉年金）の請求の事務が、いよいよこの九月から始まります。　町では、部落別に日程を決めて役場の玄関を入つてすぐ右側の部屋を国民年金受付所として受付を始めています。　ではどんな人が福祉年金をもらえるのか、次にお知らせしておきます。

老令福祉年金

1、七十才以上の人
2、本人の前年の所得が十三万円以下で、町民税のないこと
3、本人の公的年金（恩給、扶助料など）が一万二千円以下であること
4、配偶者の前年の所得税がないこと
5、扶養義務者の前年の所得税が二万三千六百円以下であること

障害福祉金年

1、二十才以上であること
2、障害の程度が一級に該当すること。　それは、
イ、両眼の視力の計の〇・〇四以下のもの
ロ、両耳の聴力損失が九〇デシベル以上のもの
ハ、両手の機能に強い障害があるもの
ニ、両手の指が全部ないもの
ホ、両手の指の全部の指に強い障害のあるもの
ヘ、両足の機能に強い障害があるもの
ト、両足が足関節以上で欠くもの
チ、体幹に、すわつていることができないか、立ちあることができないような障害があるもの

母子福祉年金

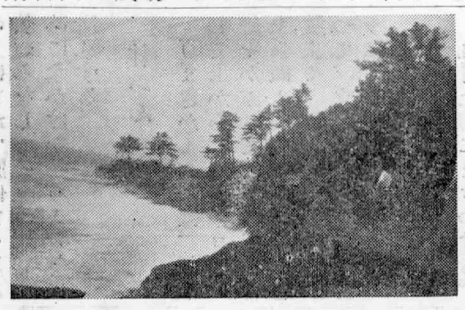
1、妻の年令が二十才以上であること
2、子は、死亡した夫の子であり、義務教育修了前の者であること
3、子は妻自身の子であつて、義務教育前の者であること
4、この子が夫の死亡当時夫によつて生計を維持されたこと
5、妻が現に婚姻していないこと
6、妻が現に直系姻族以外の者の養子となつていないこと
7、子が現に婚姻していないこと
8、子が妻以外の者の養子となつていないこと
9、その他、公的年金、所得、家族構成などが影響する

激浪で県道決潰

損害は約六百万円

風号 颱6

八月七、八両日の台風六号は、風による農作物の被害はわずかでしたが、高潮激浪の被害が大きく、山ノ口で県道七十メートルにわたつて決潰したのを始め、山ノ口、鳥浜地区では、大きな波が住家、水田に打寄せ、一時は危険状態となり、早急な災害対策が望まれています。　町内での公共施設などの損害は約六百万円に達しました。



写真説明
上、山ノ口の県道決潰現場
県道下の甘藷畑は形も残らず洗いさられた。
中、一面の砂浜となつた山ノ口の下道水田地帯、台風前日までは青々と早期水稲が繁つていた。
下、激浪にさらされる鳥浜の民家、土のうを積んで防いだ。

来年は町長選挙が行われます

選挙権の申告書は必ず出しましょう

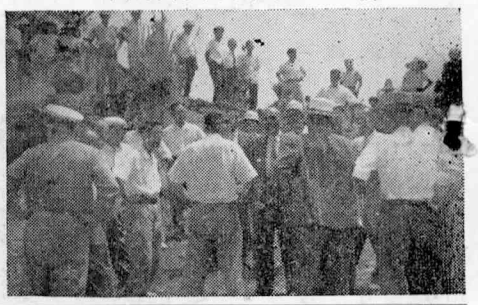
いろいろな選挙を行うもととなる基本選挙人名簿は毎年九月十五日現在で作成することになつています。

名簿を作成するには、住民登録や前年の名簿を参考にしますが、ことしから各世帯について申告書を出していただくことになつています。これは、住民登録や配給台帳だけでは実際の住所の認定がむずかしいので事実ありのまゝを申告していただくことになつたものです。　近く部落長さんを通じて申告書を配布しますからもれなく出していただくようお願いいたします。今回作成する基本選挙人名簿は、来年十一月に予定されている町長選挙に使用されるものです。

今度の名簿の選挙権の要件は次のとおりです。　一、年令、昭和十四年十二月二十一日以前に生れた人　二、住所、昭和三十四年六月十五日以前からひきつづき大根占町に住んでいる人　三、欠格事項のない人　このほか、くわしくは選挙管理委員会におたずねください。

前田運輸次官 錦をかざる

郷土出身の前田運輸政務次官は、運輸施設視察のため郷土入り、八月十三日四ケ町村の施設と、台風六号の被害状況を視察、同夜大根占小学校での観迎会に出席した。同次官は四ケ町村の運輸施設や災害復旧に最善を尽したいと挨拶、今後の援助を要請されました。



（写真は、鳥浜の災害地を視察する前田次官一行）

敬老会や無料映画

「としよりの日」の行事

ことしも「としよりの健康と福祉を高める＝としよりの日」がやつてきました。　町民公館では、第九回の「としよりの福祉週間」の計画を次のように決め、実施することになりました。

一、期間　十五日から二十一日まで
二、実施事項
イ、敬老会、部落ごとに開き、部落か婦人会で主催すること。
ロ、公民館の巡回映画に七十才以上のとしよりを無料で招待する。
三、家庭で実行すること
1、家庭は、家族の憩いの場であり、生活の本処であるから家庭を中心として、としよりの福祉をはかる。
2、家中そろつて「おじいさん、おばあさんありがとう」の趣旨で、としよりを中心とする家庭団らんの雰囲気をつくる。
3、としよりの健康をたかめるための食生活を工夫する。
4、部落で行う敬老会には喜んで行つてもらうように仕向ける。

お知らせ

戦後、貴金属等を占領軍に接収された人は、ことしの十月三十一日までに返還請求することができることになりました。手続きのくわしいことは南九州財務局鹿児島財務部（鹿児島市山下町六八　電話②―六一五五）におたずねください。

事業費一千万円で近く着工

大根占小の鉄筋校舎

学校を鉄筋建築で――これは、久しい間の願いでありましたが、いよいよ本年度大根占小学校の一部を鉄筋校舎で改築することになりました。設計は鹿児島市の有川慶三氏（本町出身）が当り、本年度は二百坪（二階建、七教室分）事業費約一千万円の予定です。

総体の計画は、講堂を除いて全部を鉄筋で改築、総坪数千百十二坪、事業費五千五百万円で昭和四十二年度までに完成する予定です。

ことしの工事は、九月下旬に旧校舎百九十九坪を解体、この材料で原田実氏宅跡（営林署の上）に合同庁舎百七坪を建て　これには森林組合、統計調査事務所等の各機関が入り、十月初旬に着工の予定です。

神川校区でも十日を農休日

有意義だつた「父の日」

神川校区婦人会では、八月四日、小中学校長、PTA会長、部落長さんら校区の「お父さん」十五名を招き「父の日」の行事を開いた。

まず校長先生の講話をきいた後、会員手作りの西瓜に舌づつみを打ちながら

1、農休日の設定
校区一円毎月十日一斉に農事を休む。ただし、農繁期は部落の都合により適宜日どりを変更して実施する
2、環境衛生
蚊と蠅のいない生活環境を作るために、婦人会と部落会が、交互に薬剤撒布する
3、お盆の生活簡素化
提灯やだんごのやりとりは親子間だけとする

等話合い、各部落でも部落会と婦人会の話合いの会をもつて、徹底的な実践活動を展開することを決めた。

そのあと、婦人会の手料理で一杯のみながら「明るい豊かな校区づくり」について話合い、映画鑑賞などしてはじめての試みである。

神川中原青年学級で

料理の講習会

神川中原青年学級は、受講生僅か十五名と云うさゝやかな学級であるが、その後もきわめて充実した運営ぶりを見せ、注目をひいている。

八月二十四日には根占から生活改良普及員の高田さんを講師に招いて「料理研究会」を開いた。

この講習会には、もちろん男子学級生も参加したが、一般婦人会員にも呼びかけ約三十名で熱心に研究したなお講習でできた料理をみんなで試食しながら「新しい農村生活はどうあるべきか」について話合い有意義な会を閉じた。

また同学級では、営農相談室の田中普及員を引率者にして、近く鹿屋農業試験場、串良伝習農場を視察する予定

県消防操法大会で 二位に入賞

町消防団は、さきに行われた郡消防操法大会の自動車ポンプの部で優勝し、九月三日の県大会に郡代表として出場、一位とは僅かの差で二位に入賞しました。

なお、一位は金峰町、三位は西之表市でした。

池田校区の婦人学級 はじまる

池田校区婦人会では、本年度婦人学級の開講について、準備を進めていたが、八月十九日池田小学校で、受講者五十九名が出席して、盛大な開講式を挙げた。

学級は、十月まで三回開講した後、十一、十二月の農繁期をさけて、来年一月から再開する予定である。

慰霊塔建設について（お願い）

戦争中に死亡した町出身の英霊を慰めるため、慰霊塔を建設しようという動きは早くからありましたが、このほど町や、旧在郷軍人会幹部で話し合いの結果、旧在郷軍人会で管理していた山林（厚ケ瀬）を処分してその経費に充てることとし、建設は別に委員会を組織して具体案をねることとなりました。ついては山林を処分することについて、御了承くださるようお願いいたします。

昭和三十四年八月十日
大根占町長
旧在郷軍人会会員各位殿

早期水陸稲の後作

先月号にも書きましたが自分の経営状態、立地条件作付体型等を考えて、蔬菜（きぬざやえんどう、グリンピース、秋馬鈴薯、白菜、大根等）飼料作物（レンゲ、エンバク、クローバー等）を作付しましょう。

町では特に下場地区に「きぬさやえんどう」の栽培を奨励しております。栽培法は別項に掲載してありますから間違いのないようにして下さい。なお、どの蔬菜類でも、販売は一番大切なことですが特に最近では協同の組織による販売でなければ市場で買たたかれます。目先のことを考えず農協を通じて共同出荷をするよう心掛けて下さい。

普通水稲

穂ばらみ期から出穂期になります。稲の一生の内で最も水分を必要とするときですから水田には十分水をためておきましょう。

特に台風時には、できるだけ深く水をためて被害を最少限度にくいとめる。

落水は出穂後約三十日位してから行います。

特に本年は害虫の発生が多いようですから秋ウンカ二化めい虫の発生に注意して、秋ウンカにはBHC一%を十アール当り三K以上か、マラソン粉剤を三K以上、二化めい虫には共同防除による有機燐剤か、デイプテレックスの五〇〇倍液（水十八リットルに三十六CC）（水一斗に約二匁）を十アール（反当）一四四リットルから一八〇リットル（八斗から一石）撒布して下さい。

また八月下旬から九月上旬にかけて異常発生しました夜盗虫は十月上旬にまた幼虫として発生しますから充分圃場を見廻つて防除が遅れないよう注意して下さい。防除薬剤は、前発生期同様、DDT二〇〇倍液、テイプテレックス、EPN粉剤を使用して下さい。

甘藷

今月は甘藷が一番ふとる時期ですから害虫（特に中白シタバ、イモコガ）の発生に注意して防除して下さい。使用薬剤はBHC三%を十アール当り三K以上を撒布して下さい。なお除草の際のツル返しは絶対止めるよう致しましょう。

蔬菜

今月は夏の暑さもしのぎ易くなり、涼しい気候になるがちようど家庭菜園のまきつけを行う適期であるので主なる蔬菜の管理を簡単に述べます。

玉葱の播種

品種は愛知白、貝塚早生、泉州黄等があるが愛知白は極早生であるが貯蔵性がないので早出用として貝塚早生も愛知白より十日位遅いけれども早生で黄色であり貯蔵性も高いので雨期前収穫をねらつて切玉用、貯蔵用に栽培するとよい、尚泉州黄は一番遅い品種で従来作られていた品種である。苗床は、石灰をふることと堆肥、人尿を十日から二週間前に施してから条まきか、ばらまきにするが坪六十ミリから八十ミリ（三匁から四匁）の種子をまく、九月上中旬までに播種する水稲早期の跡作を利用すると水分の保ちがよいので良い生育をする。

人参

品種は鹿児島人参、黒田五寸等がよい。まき付けの際は石灰をまくことと、完熟堆肥を用いること、堆肥の上にまかず脇にまくこと敷わらをして朝夕の涼しい時に水かけを行うこと等に注意する。

甘らん

夏まきかんらんは、仮植して上から、ミスやヨシズ等をかぶして床面の温度の上らぬようにすることと心喰虫や、青虫の防除をはかつて、立派な苗を育てるようにする。

白菜

九月上旬にまきつける。品種は長岡交配四元、同理想、京都三号等であるが水かけ等の管理のできる所はねり床育苗が理想である。

大根

従来の品種はバイラス病にかゝる品種が多いので高倉、大蔵等の耐病品種を用いるようにすべきである。

秋馬鈴薯

地温二十七度以下になつてから植付けるべきであるが十日前位に涼しい場所に伏込んで催芽してから移植すると遅くならずによい。

ほうれんそう

栄養価に富む野菜であるが一般に発芽が悪いので良い品を作り出していないので催芽播きを行う方法は、種子を袋（布）に入れて一昼夜水に浸し充分水を吸わしてから、水分のぬけぬようにしてぬれむしろ等に包んで冷涼な所に拡げると二日位で芽を割るので、これを播種すると百%に近い発芽をする、但し畑が乾燥していたら充分水かけを行う

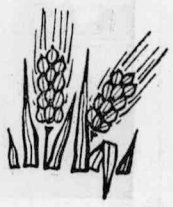
9月の農作業

営農相談室

ヒヨコの申し込み

「ヒヨコ」のほしい方は種類、おす、めすの別、羽数、ほしい時期、氏名を紙片に記入、予約金一羽につき十円を添えて役場内の営農相談室に申しこんでください。

業室 農教



飼料作物やサイロを作るには今が適期です

農作物の増収には堆厩肥を！
堆厩肥をふやすには家畜を！
家畜を飼うにはよい飼肥料作物とサイロを！
これが、農業経営を安定させる近道です。

その飼料作物や、サイロを作るには今が一番よい時期です。

野山の野草は、いわゆる雑草の類で、栄養からいつても、えんばく、クローバー類に劣るだけでなく、冬や初春の草の少い時期は草刈りに相当の時間をつぶします。

いま、えんばく、ザードイツケンを十アール（一反）植えますと三トン（八百貫）約一万五千円の価値があります。これらをうんと作つて、牛や豚を飼いましよう。

いま、奨励されている飼肥料作物は、

⊙大麦旭五号

これは、ビール麦の早生系のもので、指宿、山川方面に多く作られ、食用、味そ、しよう油の原料にもなります。

作り方は、早期陸稲、たばこ、蔬菜の前作には畦巾一メートルの条播、早期水稲の前作には畦巾一・五メートルに二条播とします。

肥料は、早く收かくするために多肥栽培を避け、たい肥五百キロ、硫安十五キロ、過石三十キロ、塩加七キロを基肥とし、追肥は一月上旬硫安七キロ程度とします。

⊙ラデノクローバー

早期陸稲の後に作ると三月下旬に一回、四月下旬に一回刈ることができます。畑でも夏の乾燥期に、水をかけられれば、二～三年続けて多收かくできます。年に六回七～十トンとれます。年間栽培の展示圃として才原の黒瀬栄吉、大尾の下玉利慶二さんが作つていますから参考まで見てください。

作り方は、畦巾六十センチの条播、種子は十アール当り〇・五リットル、たい肥七百キロ、硫安四キロ、過石二十キロ塩加七キロ、まき方は、種子が小さいので砂をまぜて、ていねいにまき、うすく土をかぶせて鍬で軽くおさえておく。

⊙ルーピン

遠いところ、たい肥の運搬に不便なところには、ぜひ緑肥としてルーピンを植えましよう。

⊙サイロ

十月までに出来あがるように準備をすすめましよう大根占農協では型わくを準備して貸し出しています。

大麦旭五号、ラデノクローバー、ザードイツケン、ルーピンなど種子の必要な人は営農相談室に申しこんでください。配付は両農協を通じて行います。

輸送円芸に有利な「きぬざやえんどう」

早出しの「きぬざやえんどう」は、本町でも二、三年前から作られ、面積も増加していますが、大量生産して共同出荷すれば、非常に有利な作物であります。

◎品種　三十日きぬざや、渥美きぬざやがあるが、三十日きぬざやをおすすめします。

◎土質は砂壌土か壌土、なるべく暖いところがよい

◎輪作は畑三年、田一年ですが、特別に病害がでない限り連作してもよい。

◎種子まきは、被岸前後から下旬、早過ぎてもよくない。種子量は十アール当り約八リットル

◎まき方は、畦巾二メートルに二条まき（バラまき）とする。

◎肥料は、たい肥八百キロ過石四十キロ、木灰八十キロか塩加二十キロ、下肥追肥に六百キロ、油粕二十キロが標

◎選別は、農協で講習会を開く予定ですが、出荷先はおもに北九州阪神方面

◎病虫害は、ウドンコ病（カラセン剤）ウラナミシジンガ、葉むぐりばえ、茎むぐりが（エンドリンDDTの五〇〇倍液）

◎收かくは、十二月から三月になる。

◎このほか、根りゆう菌を接種し、支柱立て、防風垣などの作業がある。

栽培についてくわしくは営農相談室におたずねください。

（文責神川農協牧枝）

神川校区が連続優勝

町畜産品評会行わる

本年度の畜産品評会は八月二十六日家畜市場で行われ、和牛の部校区別では神川が連続優勝しました。

入賞者は次のとおり、（数字は等級、名号、所有者氏名の順）

⊙当才牝牛

1、みのる　番園　睦郎
2　あつこ　小園　辰矢
3　かわさき　厚ヶ瀬正夫
〃　さかえ　菖蒲　栄造
4　ゆき　牧原　幸夫
〃　はつさだ　菖蒲　清彦
〃　いわ　厚ヶ瀬　節
〃　第4よしはま　山元ふじえ

⊙二才牝牛

1　ただお二号　山崎行雄
〃　きよすけ　有村　哲己
〃　第二かいち　木下　勇蔵
〃　はつさだ　段　清志

⊙繁殖牛

1、第一みのる満留はつえ　上園　良弘
2、ふじよし　加塩　武夫
3、けさこ　西北吉左衛門
〃　おくた　上玉利　優
4　むつみ

⊙当才牝馬

1　いさお　園田　功
2　さかえ　前園　栄
3　みつぐ　倉ヶ崎　貢

⊙三才牝馬

1　はつかぜ　秋元　春吉
2　きわ　内田　利夫
3　なみかぜ　橋口与之助
4　はつほし　湯ノ口三郎

⊙繁殖馬

1　はなえ　橋口　信夫
2　しろなが　今熊　義一
3　よしえい　永田　盛吉
〃　ヨシ　永山　盛武
〃　笹波　園田　光夫
4　こなみ　園田　功
〃　初姫　倉ヶ崎　実
〃　久泉　倉ヶ崎　貢
〃　初姫　前園　栄

⊙種豚

1　たけ　森元　たけ
2　もりすけ　坪内　盛助
3　すみれ二号　山南　繁彦

⊙和牛総合（校区別）

1　神川　四十二点
2　大根占　十二点
3　宿利原　九点
4　池田　六点

畜産市況

子豚せり市（大根占農協）

※ 8月16日分（頭数10頭）

	めす	おす
最高	4、000円	4、000円
最低	3、400円	2、200円
平均	3、640円	3、440円
総平均	3、540円	

※9月3日分（12頭）

	めす	おす
最高	3、600円	4、500円
最低	—	3、000円
平均	3、600円	3、750円
総平均	3、825円	

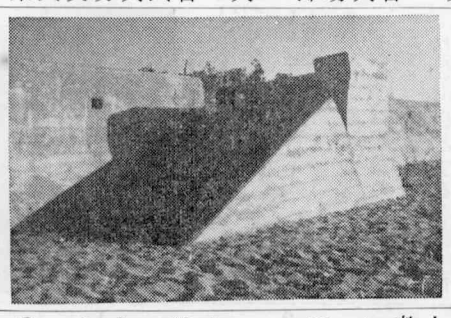
ピック

昇降路できる

神之浜地区民の長い間の要望がみのつて、海岸堤の昇降路ができました。

工事費五十三万円で、森永組と矢崎組が一ヶ所づつ施行したもの

（写真は、その昇降路）



土器屋君ら北米へ

三十三年度の派米農業労務者として合格していた、土器屋理人（安水）押領司友善（川北）段久夫（川南）の三君は、中央訓練も終り、いよいよ北米に向うこと（写真は、優勝した大根占チーム）となりました。

日程は十一日大根占発、十三日横浜移住斡施所に入り、十七日午後八時、羽田空港から出発します。

なお、三十四年度の派米農業労務者として、前迫市志、前迫重敏、段高志（以上池田）坪内元（六反田）の四君が第一次選考に合格十五日に、県及び中央の選考が行われることになつています。

四ヶ町村の弓道大会

四ヶ町村の弓道同好者四十名の参加する徳田杯争奪戦が八月二十二日、町体協の弓道場で行われ、熱戦のすえ、大根占チームが優勝した。

成績次のとおり

◎団体戦

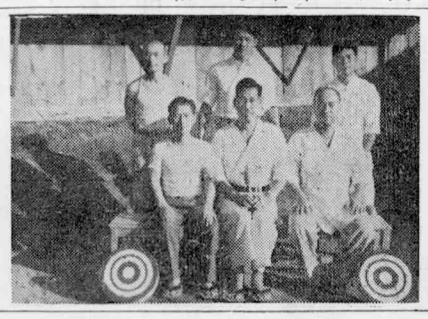
一位　大根占町　四三中
二位　根占町　三八中
三位　田代村　三七中

◎個人戦

一位　倉元幸一郎
二位　山元　逸男
三位　桑鶴　伝
金的賞　岩城嘉一郎
小榎　時雄

土木事務所が優勝

町体協の野球大会

夏の呼びもの、体協主催野球大会は、去る八月九、十五、十六日の三日間、盛大に開催されたが、結局投手陣に恵まれた土木事務所チームが、庄倒的強みをみせて初優勝した。

出場チームは役場、金融クラブ、池田OB、宿利原青年、厚ヶ瀬青年、神川OB、大根占営林署、土木事務所、神之浜青年の九チームであつた。